１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０

酒田の未来創造伝導室

担当副理事長基本方針

副理事長　櫛引柳一

日本国民が希望を失う程の衝撃を残し続ける東日本大震災から２年、この未曾有の大災害で癒える事のない被災者の心の傷、政治や経済が混迷を極める中で未だに未来は描けずにいます。３７年前、我々の故郷も大火から復興を成し遂げた歴史があります。取り組むべき問題や地域が違っていても、我々ＪＡＹＣＥＥは責任世代として酒田大火後復興支援の報恩を胸に、愛する故郷の一刻も早い再興を目指し、率先して行動することが必要です。

まずは、市民主導型の酒田まつりを実現するために、市民や協力団体とともに運営組織を立ち上げ酒田まつり実行委員会に主体的に参画し、市民が企画・運営段階から自発的に意見・行動する、新時代のまつりを創りあげます。そして、酒田まつりの歴史と伝統と先人たちの想いを未来へ伝導するために、山鉾製作や修繕作業に市民を巻き込み、山鉾が市民の誇りであることを市民が主体となり人との繋がりを活かし伝達します。さらに、酒田まつりの中心的役割を担う立て山鉾事業を継続し、まつりを最大限に盛り上げるために、酒田まつりの本祭りにおいて市民とともに囃し動かします。また、酒田市民とともに酒田の歴史と伝統と誇りを伝導していくために、多くの歴史資料とともに山鉾を展示・収蔵し、山鉾の発着地点としての機能や山鉾製作活動の場所としての役割も持つ「酒田歴史資料館構想」が現実となることを目指します。そして、酒田まつりへ県内外の観光客を誘致するために、山鉾を核とした酒田まつり事業の歴史と伝統と誇りの発信を、公共交通機関との協力連携やＳＮＳツールの利用、メディアの有効活用で市民とともに実施していきます。

市民主導型のまつりを実現することで、市民の自発的な運動が地域社会に広く伝播し、その運動は地域社会のあらゆる市民を巻き込み良き未来へと繋がっていきます。明るい豊かな社会に向け、我々は責任世代として、信念をもって、地域の未来を創造していきます。